課題 ⇒ 方針 ⇒ 施策

資料4-2

課　題

1. 優れた自然環境の優先的保全
- ○江の島、三大谷戸、二大河川を軸とした保全施策の打ち出し
- ○「残したい藤沢の原風景」の指定による保全
- ○環境教育・体験の場としての「農」の利用
- ○情報の集積・発信拠点として「生物多様性情報センター」等の場の創設
- ○良好な自然環境の活用による「エコミュージアム」化

2. 身近な自然環境の保全と活用
- ○市街化区域に残る市有山林の保全と有効活用

3. 学校を起点にした協働連携体制の構築
- ○「おやじの会」などによる学校ビオトープの管理体制構築

4. 新たな観光スタイルの提案
- ○「農」を活かした体験型観光の推進

5. 脆弱な自然環境の保全担保性向上
- ○制度による補償
- ○人手による維持管理の推進体制構築

6. 地域や事業間（企業間）の連携による生物多様性保全の推進
- ○地域内での連続した緑の確保
- ○普及啓発の拠点における重点プロジェクトの立ち上げ・実施
- ○人手による維持管理の推進体制構築

7. 市による人材育成制度の構築
- ○外来種対策の人材育成促進
- ○教員OB・OGを活用した理科教育の対応策構築（特に野外体験）

8. 地域で維持する「農」環境
- ○高齢者による農地管理作業への支援体制構築
- ○作物の廃棄物減少に向けた再利用策の提案
- ○ブランド野菜・加工品の提案

9. 防災・減災の視点による環境の保全
- ○立地条件に合わせた土地利用の推進
- ○調整区域内の立地の防災・減災対策用地の指定

10. 地域の生態系を脅かす生物への対策
- ○自然地への外来種の侵入防止対策
- ○放棄した樹林への竹類の侵入防止対策

11. ライフスタイルの見直しによる持続可能な社会の創出
- ○新しい3R（リノベーション、エシカル等の視点を含む）の提案・実践

方　針

暮らしのなかで
生物多様性を感じ
大切に育てます。
- 啓発
- 主流化

多様な人材が協力・
活躍できる仕組を
作ります。
- 協働
- 人材育成

谷戸・川・海・農など
残された大切な環境を
市民で守り引き継ぎます。
- 守る

地域資源を最大限
活かし、市内の小さな
循環で豊かな暮らしを
創ります。
- 活用する
- 経済

暮らしのなかに
生きものが利用できる
「場」を創ります。
- 創る
- 良くする

施　策

・・・

・・・

・・・

・・・

・
・
・

「協働」等3つのキーワードで串刺しできる施策を検討？

3つのキーワードは別途「理念」等で示せないか。